

専門教育科目		演習科目		受講料		5,000円	
科目名： 教養としての生成AI				科目コード		EK42	
				単位		2	
科目主査： 伊藤 泰雅 担当講師： 伊藤 泰雅				配当年次		1	
				授業の目的と概要			
生成AIは文章や画像、ビデオなど様々なコンテンツの自動生成を可能にし、創作分野からビジネス、医療に至るまで幅広く急速に普及しています。その技術革新により、クリエイティブな業務の効率化や、新しい表現手法の創出が進んでいますが、一方で著作権やフェイクコンテンツなどの社会的・倫理的な課題も浮上しています。この科目では、まず教養レベルのAIの基礎理論や技術を学びます。そして機械学習と文章・画像生成の仕組み、応用分野の理解を深めます。また、生成AIがもたらす社会的影響や倫理的な問題も議論し、今後の可能性と課題を探究します。さらに実習を通じて、実際のAIモデルの活用スキルも養い、AI技術の創造的な応用力を身につけます。							
履修の前提となる科目		☐ あり ☒ なし		科目名：			
履修の前提となる知識 その他特記事項		特にありません。この分野の知識を学習したことのない人でも参加していただけます。授業項目を把握した上で履修を申し込んでください。必須ではありませんが、実習において各自のスマートフォンを利用する場合があります。お持ちでしたらご持参ください。アプリのインストールも想定しています。					
テキスト		『できるChatGPT』 清水理史 著，インプレス，最新版					
この科目の到達目標		①生成AIのしくみ、利用の事例、課題について把握し、説明できる。 ②生成AIのニュースに関心を持ち、今後の社会やビジネスでの利用と影響、課題について考察することができる。					
成績評価の方法		授業に取り組む姿勢と最終試験の合計により評価します。					
事後学習		スクーリングで得た生成AIに関する知識と関心をもとに、今後も生成AIの動向を把握して、社会、ビジネス、生活の中での活用方法について考えてください。					
事後学習の参考文献		『ITの仕事に就いたら「最低限」知っておきたい生成AIの常識』 南龍太 著，ソシム，2024年 『ChatGPTのしくみと技術がこれ1冊でしっかり分かる教科書』 中谷秀洋 著，技術評論社，2024年 『いちばんやさしいChatGPT超入門』 リンクアップ著，技術評論社，2024年					
スクーリング受講時に用意するもの ☒ テキスト ☒ 筆記用具 ☒ 受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面 ☒ 学生証 ☒ スマートフォン							